

赤城南ろくのPR写真

風景や祭りの力作募集

赤城南ろくの自然や祭りをPRする観光百景写真コンテストの作品を募集します。皆さんの力作をお待ちしています。

部門：風景写真部門 四季折々の自然 風景など まつり写真部門 祭りやイベントなど
サイズなど：いずれも四つ切りカラー。ただし、ワイド四つ切

り、デジタル処理作品は不可。一年以内に本市、富士見村、大胡町、宮城村、粕川村で撮影した未発表の作品に限る。申し込み：1月31日。までに市観光協会（市役所6階商業観光課内 890 6606）または群馬フジカラー取扱店へ直接 審査結果：3月上旬発表予定 その



他：応募資格・枚数に制限なし。作品には応募票を添付し、入賞作品およびネガの使用権は主催者に帰属。入賞者は作品ネガを指定期日までに提出。提出しないときは棄権とみなす。

建設工事や測量などの入札 参加の申請が必要です

平成十五・十六年度に発注する建設工事と平成十五年度に発注する測量・建設コンサルタン卜業務などの競争入札に参加を希望する人は、申請が必要です。所定の用紙に必要事項を記入し、申請の手続きをしてください。

対象：土木・建築・電気・給排水などの建設工事業者、測量・土木・建築工事の設計・監理・工事の調査（土質調査を含む）・企画立案などを行う業者（前年度格付けされた業種を除く）
申請要領の配布：市内業者：6288へ。

来年度の市政モニターを募集

建設的な意見や要望を

来年度の市政モニターを募集します。市政モニターは、市政について建設的な意見や要望を文書で提出。ほかに市有施設の見学や市議会の傍聴などに参加していただきます。

募集人数：十五人 応募資格：18歳以上の市民（市政モニター経験者と公務に携わる人は除く）

で、施設見学会や市議会の傍聴などに参加できる人 任期：4月～平成16年3月 主な仕事：月一回程度、市政に対する意見・要望などの提出と市有施設の見学、市議会の傍聴など 申し込み：1月15日 までに八ガキで「市政モニター応募」と、住所・氏名・年齢・性別・職業・勤務

1月31日 まで 市外業者：2月7日 まで 申請書の様式は本市独自様式 国土交通省統一様式 受付期間：1月10日～31日 は1月10日～2月7日、午前9時～午後5時 場所：市役所2階契約課
問い合わせは同課 890 6288へ。

先（学校名）・主な職歴・電話番号（自宅・勤務先など）を明記し、応募動機や市政についてのご感想を記述することなどを百字程度の文章にして市役所広報広聴課へ。その他：応募者の中から地域や年齢などを考慮して選任します。公募する十五人以上に職域や世代を考慮して団体外から九人を選出します
問い合わせは同課 890 6644へ。

4月に開設します

前橋工科大の博士課程

前橋工科大は、文部科学省から大学院博士後期課程の設置が認可されました。それに伴い、四月から大学院工学研究科に環境・情報工学専攻を開設。第一期生となる平成十五年入学学生を募集します。定員は四人。詳細は本紙1月15日号でお知らせします。

昼夜開講制を導入

就学機会を広げるため、博士後期課程でも「昼夜開講制」を実施。社会人の技術者や研究者が勤務をしながら、仕事のスケジュールに合わせて体系的な研究指導が受けられるように配慮したカリキュラムになっています。

教育研究の特色

環境・情報工学専攻では、自然と共生する地域社会環境や快適で安全な「まちづくり」を実現するための二十一世紀型の環



博士課程が前橋工科大に

前橋工科大大学院工学研究科博士後期課程	
専攻名	教育研究内容
環境・情報工学専攻	循環型社会の構築を推進する21世紀型の環境共生技術と、高度情報通信社会の構築を推進する最先端の情報通信技術における専門分野について、先導的・独創的な基礎研究、およびこれより派生する多角的な応用研究について専門性の高い教育研究を行う。このため、環境デザイン工学分野とシステム情報工学分野の2分野を教育研究の柱として設ける。また、両分野が互いに強く連携することによって、環境共生技術と情報通信技術の融合による技術を研究によって推進する先導的な教育研究も行う。
環境デザイン工学分野	地域の良好な環境の保全を実現するために、地域の環境を構成する要素を自然、人間活動、人工物としてとらえ、これら要素間の環境負荷と総合的な環境負荷を低減する環境共生技術についての専門分野を、総合的に推進する教育研究を行う。
システム情報工学分野	情報の生産から利用までの過程をシステム技術の視点からとらえ、これらを高度化・知能化する情報通信技術についての専門分野を総合的かつ独創的に推進する教育研究を行う。

境共生技術の推進について教育研究を行います。さらに、知識集約型産業の発展などを推進し、活力に満ちた「くらしづくり」の実現を目指した最先端の情報通信技術の高度化についての教育研究を通して、豊かな地域社会づくりに貢献します。

また、二十一世紀型の環境共生技術と最先端の情報通信技術の相互の利用や研究を通じて、これら技術の融合による高度な技術を研究開発する教育研究も行います。

問い合わせは同大事務局 265 0111へ。